

第5章 着実な推進のために

1 計画の進行管理

この計画に掲載している各施策を効果的かつ確実に推進するためには、絶えず計画の進行管理を行う必要がある。

そこで、この計画に基づく各施策の進捗状況の点検・評価については、PDCA サイクルに沿って毎年度実施することとする。

その後、点検・評価の結果を踏まえて、翌年度における実施事業を決定することとする。

なお、翌年度における実施事業は「アクションプラン」として毎年度策定し、市民に広く公表する。

また、「アクションプラン」の策定にあたっては、教育に対する市民ニーズを的確に把握するとともに、「本市の財政状況」や「期待できる効果の大きさ」等を踏まえた内容とする。

2 計画の見直し

現代における社会経済状況の変化はめまぐるしく、それに伴い、教育を取り巻く課題もその時々に応じて変化している。その結果、教育に対する市民ニーズも大きく変化することは想像に難くない。

そこで、こういった時代の変化に適切に対応するため、計画の期間内であっても、必要であれば計画内容の見直しを行うものとする。

また、この計画は、本市の最上位計画である「明石市第5次長期総合計画」に基づく教育分野の個別計画に位置付けられていることから、「明石市第5次長期総合計画」の内容が見直される場合には、この計画の内容も連動して見直しを行うこととする。

なお、この計画の策定以後に、教育分野における各施策を推進するために計画を策定する際には、この計画の趣旨に則って策定するものとする。